

新型コロナウイルス感染症

感染症拡大の第2波を防ぐために、
私たち一人ひとりにできること

見えないウイルスと向き合う生活～正しくおそれること～

去る6月12日、本町では6月議会定例会において、町民の皆様の暮らしと営みを守るための補正予算が成立しました。この補正予算に盛り込まれた緊急経済対策を迅速かつ適正に執行するとともに、今現在まで届いている「対応が不十分」など、多くの町民の皆様の御意見・御提案を踏まえ、次の「第2次緊急経済対策」を準備してまいります。

さて、国及び愛知県独自の緊急事態宣言が解除されてから、1ヵ月余りが過ぎました。私たちの生活は、「withコロナ」（新型コロナウイルスとの共生）という言葉に例えられるように、見えないウイルスと常に向き合う生活が長期間続くと予想されています。

愛知県は、感染拡大の防止と社会経済活動の維持の両立を図るために「愛知県新型コロナウイルス感染拡大予防対策指針」を策定し、県民に対して「新しい生活様式」の定着を促しながら、段階的な社会経済活動の緩和を実施しています。

本町においても、これまで町民の皆様に「新しい生活様式」に基づく感染予防対策への取組をお願いしてきたところであり、皆様の御協力により、6月15日現在、幸田町では新型コロナウイルス感染者は報告されておられません。

しかし、今後も感染拡大の第2波のリスクは存在しており、決して気を緩めることはできません。新型コロナウイルスはなくなりません。ウイルスを正しくおそれることを忘れず、町民の皆様一人ひとりが、身近な予防対策を続けていただくことこそが感染拡大第2波への最も大きな備えです。私たち一人ひとりができることを大切に積み重ねていきましょう。

幸田町長 成瀬 敦

人との接触を8割減らす、10のポイント

緊急事態宣言解除後の新しい日常においても、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守れるよう、日常生活を再度見直してみましょう。

1 ビデオ通話でオンライン帰省



2 スーパーは1人または少人数ですいている時間に

3 ジョギングは少人数で公園はすいた時間、場所を選ぶ

4 待てる買い物は通販で

5 飲み会はオンラインで



6 診療は遠隔診療 定期受診は間隔を調整



7 筋トレやヨガは自宅で動画を活用

8 飲食は持ち帰り、宅配も

9 仕事は在宅勤務

通勤は医療・インフラ・物流など社会機能維持のために

10 会話はマスクをつけて



そして

3つの密を
避けましょう

1. 換気の悪い密閉空間
2. 多数が集まる密集場所
3. 間近で会話や発声をする密接場面

+

手洗い・咳エチケット
換気や、健康管理

出典 厚生労働省「人との接触を8割減らす、10のポイント」

知っていましたか？ あいちの「買い物ルール」



「愛知県新型コロナウイルス感染拡大予防対策指針」の中には、愛知県が独自で定めた、あいちの「買い物ルール」という、県民や事業者に向けた決まりがありますのでご紹介します。

「県民の皆さん」へのお願い

1

少人数

できるだけ1人または必要最小限の家族のみで

2

短時間

買い物メモを準備し滞在時間を短縮する

3

咳エチケットなどの徹底

必ずマスク着用・手洗い・入店前後の消毒を

4

混雑時を避ける

すいている時間に、人との距離をあけて

5

買いだめや 買い急ぎはしない

必要な分だけ買うように

6

毎日の利用はしない

2～3日に1回の計画的な利用を

「スーパーなど事業者さん」へのお願い

1

混雑時の 入場制限

買い物かごコントロールなど

2

人と人との 距離の確保

入店・会計待ち時のテープなどによる間隔明示など

3

共用部の 消毒・手指衛生

扉や手すりなどの消毒など

4

レジ前の パーティション

ビニールシートの活用など

「高齢者・障がい者」などへの配慮を

「開店から1時間程度」を、高齢者、障がい者、妊婦、ヘルプマークの皆さんが、安全に、安心して買い物をすることができる時間としていただけるよう、事業者の皆さん・利用客の皆さんにご協力をお願いします。

徹底しましょう 「新しい生活様式」の実践例

気を緩めないように！



今後も基本的な感染対策を継続し、日常生活の中で定着させることが必要です。政府の新型コロナウイルス感染症専門家会議により提言されている「新しい生活様式」の実践例をおさらいしたいと思います。

1 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用。
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える。シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。

* 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行は控えめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

2 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集・密接・密閉）
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱または風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



外出控え 密集回避 密接回避 密閉回避 換気 咳エチケット 手洗い

3

日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツなど

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食 事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

4

働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 対面での打合せは換気とマスク
- 名刺交換はオンライン
- 会議はオンライン

出典 厚生労働省「新しい生活様式」

感染症拡大の第2波を防ぐためには、
一人ひとりの毎日の心がけが一番大切だよ。
まだまだ、ウイルスと向き合いながらの生活が続きますが、
「強くあれ、でもお互いにやさしく」*だね。

*「強くあれ、でもお互いにやさしく」とは、世界でもいち早く感染を収束させたニュージーランドのアーダーン首相が国民向けのメッセージにおける締めくくりの言葉として使っていたものです。



問合せ

健康課健康増進グループ ☎(0564)62-1111(内線181) FAX(0564)62-8217